

アウル通信



2020.12.1 発行 第224号

『声』

相田みつをさんをご存知でしょうか？

僕は、気持ちが凹んだり、落ち込んだり、嫌なことがあると、よく彼の言葉にすがり癒されたものでした。アウルの玄関や廊下にも作品のレプリカを飾っています。その中の「声」という作品をご紹介します。

声

あなたの声を 電話で聞いた だけで

その日一日 こころが なごむ

理屈じゃねんだよ なあ

(相田みつを)

新型コロナウイルスの脅威は、札幌に留まらず、北海道全域に広がりを見せています。今は、それぞれが自分に出来ることと、予測して備えておくことを、日々のルーティーンとしてされていることと思います。

誠に残念ながら、未だ面会の制限を解除するには至っておりませんが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そんな中、お互いに声を聞くだけでも、こころがなごむといいのにと、この作品を見るたびに思うのです。

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人



宮崎先生が感銘を受けた本
「満月の夜、母を施設に置いて」

藤川 幸之助 著 中央法規

さびしい言葉①

病院で母と同質のばあちゃんは
母と同じくらい呆けている
母と違うのは言葉が話せること
看護師さんが来ると必ず
「お願いします 死なせてください」なのだ
看護師さんが母の世話をしているときも
背中越しに
「お願いします 死なせてください」
時には私に向かって
「お願いします 死なせてください」
また時には呆けた母に向かって
「お願いします 死なせてください」
「さびしい言葉ね それはできないのですよ」
看護師さんが言う
「いやできるはず 死なせてください」

〈今月の出来事〉

○出前

○クリスマス準備

〈実習生〉

今月、実習生はおりません。

《編集後記》

今月の題字は、古坂一造様に
書けて頂戴した。
コロナウイルスに加え、インフルエンザの
時期に重なった。
皆様、体調崩さずようお過ごしください。



発行責任者

宮崎 直人



食欲の秋 出前の秋



皆さんの大好物を
出前で頼んで
お出かけ気分を
楽しみました♪

にこにこ

ゆいゆい



もういくつ
寝ると
クリスマス



みんなで力を合わせて
クリスマスツリーの
飾りつけをしました♪
みなさん、とても楽しそう♪

お寿司に
ラーメン♡
おいしい笑顔が
いっぱいです♪

